

平成20年度(4月～3月)当県連主催の地区審査会の学科審査問題は、下記から2問出題します。受審段位以下の問題がすべて出題対象になります。(例；式段受審の場合は無指定・初段・式段に提示してある問題から2問出題)

配点は1問50点とし、2問で100点とする。60点以上を合格とする。(無指定受審者が術科の審査で級位に判定された者は、この限りでない)

※ 4/20の西部・東部地区審査から1年間適用。

◎ 無指定

1. 弓道を学んであなたの生活に、良い影響を与えていることについて述べなさい。
2. あなたは弓道を通してどんなことを身につけたいと思いますか。
3. 射法八節を順序よく書き、そのうちの1つについて説明しなさい。
4. 道場内における心得と注意点について述べなさい。
5. 「執弓の姿勢」について述べなさい。

◎ 初 段

1. あなたは、どのような心構えで普段の稽古をしていますか。
2. 現在のあなたの弓道修練の目標と、それに対して行なっていることを述べなさい。
3. 「引分け」の留意点について述べなさい。
4. 射場内における危険防止の留意点を述べなさい。
5. 巻藁練習(稽古)の効用と留意点について述べなさい。

◎ 二 段

1. 日常の稽古の中で、あなたが特に努力していることについて述べなさい。
2. 弓道修練の中から学んだことについて述べなさい。
3. 「射法・射技の基本」について述べなさい。
4. 「引分け」の留意点を述べなさい。
5. 基本動作の心得について述べなさい。

◎ 三 段

1. 弓道修練の理念を、あなたのことばで説明しなさい。
2. 基本動作の心得について述べなさい。
3. 「五部の詰」について述べなさい。
4. 入退場の心得と注意点について述べなさい。
5. 基本体型について述べなさい。

◎ 四 段

1. 「射即人生」ということばを、あなたの日常生活と関連させて述べなさい。
2. 初心者指導の心得について述べなさい。
3. 「三重十文字」の重要性について述べなさい。
4. 「失」の心得(三原則)とその処理方法について説明しなさい。
5. 「呼吸(息合い)」をどのように考えて、実践しているか述べなさい。

無指定受審者と70歳以上の方について

- 注意
- ① 無指定受審者と70歳以上の方は審査当日の朝、レポートを提出することにより学科審査とします。
 - ② レポートの内容は、該当する審査種別の学科問題を1～2から1問、3～6から1問の2問を選び自筆で解答する。1問につき500字程度とする。
 - ③ 用紙は県連盟の学科試験用紙を使う。一行に40字程度を書く。1問を500字程度にまとめ、一枚で2問を要領よくまとめる。(用紙は支部・学校にあるのでコピーして使用する)
 - ④ 最上部には次のように書くこと。

自分の受審番号		受ける審査種別			70歳以上の人は氏名と年齢を書く		
受審 番号	1 2 0	受審 段位	初 段	氏 名	ふりがな	しず おか た ろう	静 岡 太 郎 (72歳)
1. 自分が選んだ問題を書き解答する							

- ⑤ 受審番号は当日の朝、受審番号を確認して記入する。